



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
 コード番号 3600 URL <http://www.fjx.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,439	9.6	△16	—	△17	—	△44	—
25年3月期第2四半期	3,138	△0.6	16	—	22	59.0	△40	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 365百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △18百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△6 53	—
25年3月期第2四半期	△5 94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,022	8,963	75.6
25年3月期	10,517	8,601	77.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,331百万円 25年3月期 8,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	12 50	12 50
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12 50	12 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,901	11.9	△8	—	12	—	△42	—	△6 23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名) FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd.、除外 1社(社名)―

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	7,340,465株	25年3月期	7,340,465株
26年3月期2Q	450,929株	25年3月期	449,433株
26年3月期2Q	6,890,392株	25年3月期2Q	6,892,052株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高額商品を中心とした消費回復傾向や、輸出関連企業の業績回復など、政府の経済対策の効果も表れ、先行きへの期待感が膨らむ一方、所得環境が広く回復しない中で、円安による輸入品、食料品の価格やエネルギーコストの上昇が消費者の生活防衛意識を高めるなど、経済効果や個人消費には格差が生じております。

また海外においては、引き続き不透明な中東や欧州情勢に加え、日本にも大きな影響を及ぼす中国経済の先行きにも不透明感が増しております。

当縫い糸業界は、消費者の節約志向も依然根強く、デフレ傾向から脱却できない上に、アジア諸国での人件費の上昇、円安の影響やエネルギーコストの上昇が製品原価を押し上げるなど、全般に厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、アジア事業においては引き続き増収となり、グループとしての取り組みの成果も表れつつあるほか、国内においては今秋以降実施する工業用縫い糸の価格改定に伴う駆け込み受注も見られました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,439百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

しかし利益面は、国内事業においては販管費の減少などで赤字幅が減少しつつあるものの、アジア事業では円安の影響や人件費の上昇、事業拡大の先行的な経費負担などもあって、営業損失は16百万円(前年同期は16百万円の利益)、経常損失は17百万円(前年同期は22百万円の利益)、四半期純損失は44百万円(前年同期は40百万円の損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は、次のとおりです。

日本

政府の経済対策の効果もあって、一部の高額商品には消費の回復が見られるなど、国内景気は先行きへの期待感が膨らみつつありますが、全般には所得環境の回復が感じられない中で、食料品をはじめ、生活必需品の価格が上昇傾向にあり、消費者の節約志向は依然根強く、個人消費にも格差が見られ、手作りホビー関連の商品もデフレ傾向から脱却できません。また衣料品の生産においても縫製人員が減少傾向にあり、円安傾向にあっても国内生産の回復が見られず、縫い糸の受注も厳しい状況が続いております。

このような中、今秋からの工業用縫い糸の価格改定に伴う駆け込み受注もあって、当セグメントの売上高は2,652百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

また利益面につきましては、輸入原材料の価格上昇や電力料金などエネルギーコスト上昇が製造原価を押し上げており、販管費の減少により損失幅は縮小したものの、セグメント損失は66百万円(前年同期は89百万円の損失)となりました。

なお、当社グループにおいては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、当社の平成25年4月から9月まで、国内子会社は平成25年2月から7月までの業績が連結されております。

アジア

当セグメントに属する当社グループの海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、平成25年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間のアジア地域の縫製につきましては、中国における様々なリスクや人件費の上昇、さらに円安傾向の影響を回避するために、特に量産衣料品を中心に、より安価な労働力が確保できる東南アジア諸国への分散傾向が続いております。

当社グループは、中国においては、衣料用のみならず自動車関連分野にもすそ野を広げると共に、引き続ききめ細かなサービスや高い品質を武器に販売努力を続けました。また一昨年以降、タイ及びベトナムにも関係会社を設立して、アセアン諸国に分散しつつある縫製市場への対応も進めつつあります。

これらの結果、当セグメントの売上高は787百万円(前年同期比33.1%増)と引き続き増収となりました。

しかしながら利益面につきましては、中国の人件費の上昇や円安の影響、アジア事業拡大のための先行的な経費負担もあって、セグメント利益は45百万円(前年同期比49.1%減)となりました。

なお、平成23年にタイ国サハ・グループとの合弁で設立した持分法適用関連会社FUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd. は、平成25年8月に増資を行い、主に当社が引き受けたことにより連結子会社となりましたが、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、持分法適用関連会社として同社の損失は営業外費用の持分法による投資損失として計上され、当セグメントの売上高及びセグメント利益に影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて504百万円増加し、11,022百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少53百万円、受取手形及び売掛金の増加292百万円、たな卸資産の増加105百万円、固定資産では、有形固定資産の増加47百万円、投資その他の資産の増加51百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて142百万円増加し、2,058百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加91百万円や長期借入金の増加26百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて362百万円増加し、8,963百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少134百万円、その他有価証券評価差額金の増加78百万円、為替換算調整勘定の増加238百万円、少数株主持分の増加179百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期連結業績につきましては、今後の経済効果の浸透、来春実施が決定した消費税増税の影響に加え、中国を始めとするアジア地域全般の経済の先行きは不透明ながら、当第2四半期連結累計期間の業績や当業界の現状を踏まえ、平成25年5月14日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。

詳しくは、平成25年11月13日に発表いたしました「平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年8月19日付で、持分法適用関連会社であったFUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.の増資を引受けることにより株式を追加取得し、連結子会社としております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,701,163	2,647,547
受取手形及び売掛金	1,394,206	1,687,090
たな卸資産	2,892,320	2,997,837
その他	96,620	127,572
貸倒引当金	△8,746	△11,010
流動資産合計	7,075,563	7,449,038
固定資産		
有形固定資産	1,795,436	1,843,360
無形固定資産		
のれん	—	11,931
その他	184,430	204,485
無形固定資産合計	184,430	216,417
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,467,491	1,518,887
貸倒引当金	△5,111	△4,911
投資その他の資産合計	1,462,379	1,513,976
固定資産合計	3,442,246	3,573,754
資産合計	10,517,809	11,022,792
負債の部		
流動負債		
買掛金	570,702	662,394
短期借入金	—	8,350
未払法人税等	46,152	36,106
賞与引当金	66,492	65,919
移転損失引当金	95,602	111,525
その他	423,823	383,644
流動負債合計	1,202,774	1,267,940
固定負債		
長期借入金	41,070	67,644
退職給付引当金	83,286	80,057
役員退職慰労引当金	174,637	178,083
資産除去債務	20,330	20,366
その他	394,237	444,849
固定負債合計	713,561	791,000
負債合計	1,916,336	2,058,941

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,276,511	6,141,899
自己株式	△106,429	△106,697
株主資本合計	7,851,421	7,716,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235,586	314,562
為替換算調整勘定	61,491	300,060
その他の包括利益累計額合計	297,078	614,622
少数株主持分	452,974	632,686
純資産合計	8,601,473	8,963,851
負債純資産合計	10,517,809	11,022,792

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,138,123	3,439,470
売上原価	2,204,475	2,513,907
売上総利益	933,648	925,563
販売費及び一般管理費	917,376	942,328
営業利益又は営業損失(△)	16,272	△16,765
営業外収益		
受取利息	3,263	6,614
受取配当金	8,633	11,110
受取奨励金	7,818	1,001
その他	10,431	12,963
営業外収益合計	30,146	31,689
営業外費用		
支払利息	2,037	2,050
為替差損	5,393	25,177
有価証券評価損	4,792	—
持分法による投資損失	9,073	3,589
その他	2,151	1,848
営業外費用合計	23,448	32,665
経常利益又は経常損失(△)	22,970	△17,741
特別利益		
固定資産売却益	—	66
特別利益合計	—	66
特別損失		
固定資産除却損	—	41
移転損失	5,255	—
その他	0	—
特別損失合計	5,255	41
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	17,715	△17,717
法人税、住民税及び事業税	16,639	17,190
法人税等調整額	19,906	△5,917
法人税等合計	36,546	11,272
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,831	△28,990
少数株主利益	22,085	15,988
四半期純損失(△)	△40,916	△44,978

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,831	△28,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,256	78,975
為替換算調整勘定	32,825	315,332
持分法適用会社に対する持分相当額	514	463
その他の包括利益合計	83	394,771
四半期包括利益	△18,747	365,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,447	272,565
少数株主に係る四半期包括利益	30,700	93,215

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,546,743	591,380	3,138,123	—	3,138,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	185,928	242,033	427,962	△427,962	—
計	2,732,672	833,413	3,566,085	△427,962	3,138,123
セグメント利益又は損失 (△)	△89,857	89,257	△600	16,872	16,272

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額16,872千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,652,259	787,211	3,439,470	—	3,439,470
セグメント間の内部 売上高又は振替高	201,893	303,729	505,622	△505,622	—
計	2,854,152	1,090,940	3,945,093	△505,622	3,439,470
セグメント利益又は損失 (△)	△66,664	45,405	△21,258	4,493	△16,765

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額4,493千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は、平成25年8月19日付で、タイ王国にて縫製用ミシン糸の販売業を営む持分法適用関連会社であるFUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd. の増資を引き受けることにより株式を追加取得し、みなし取得日を平成25年6月30日として連結の範囲に含めており、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「アジア」のセグメント資産が287,452千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年8月19日付で、持分法適用関連会社であるFUJIX INTERNATIONAL Co., Ltd. の株式を追加取得し、平成25年6月30日をみなし取得日として連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、「アジア」セグメントにおいて11,931千円であります。